

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	1
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ
用途	地域振興作物助成			
対象作物	基幹作物:キャベツ			
単価	20,000円/10a (上限単価:25,000円/10a)	参考となる単価※3	25,000円/10a以内	
内容	地域振興作物の作付けに対して助成			
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者:助成対象作物を作付けした農業者 <input type="checkbox"/> 出荷販売実績の確認できるもの <input type="checkbox"/> 対象農地:水田			
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、現地確認、販売証明書			
備考	和寒町のキャベツは「越冬キャベツ」として商標登録され地域特産品として付加価値が高いものの、重量作物であるため、高齢化や担い手の減少を背景に作付面積の減少が懸念される。今後も地域特産品として安定的に生産を確保するため助成を行う。			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	2
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	地域振興作物助成			
対象作物	基幹作物: 南瓜			
単価	20,000円/10a (上限単価: 25,000円/10a)	参考となる単価※3	25,000円/10a以内	
内容	地域振興作物のうち重点品目である南瓜の作付けに対して助成			
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者: 助成対象作物を作付けした農業者 <input type="checkbox"/> 出荷販売実績の確認できるもの <input type="checkbox"/> 対象農地: 水田			
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、現地確認、販売証明書			
備考	和寒町の南瓜は、作付面積及び生産量とも日本一であり、地域特産品としての知名度・市場評価も高く、他作物・他産地と比較して高めの価格で取引されていることから農業所得の向上にも寄与している。しかし、重量作物であるため、高齢化や担い手の減少を背景に作付面積の減少が懸念されており、今後も地域特産品として安定的な生産と農業所得の向上を図るために助成を行う。			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	3	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	安心・安全加算				
対象作物	基幹作物:キャベツ、南瓜				
単価	7,200円/10a (上限単価:9,000円/10a)		参考となる単価※3	9,000円/10a以内	
内容	生産履歴・栽培履歴を整備し、更に農薬による残留農薬の問題等の事故防止と適正使用の取り組みを推進するため、農薬の使用時に作業内容を確認するチェックシートを作成し、取組している作物の作付面積に対して交付する				
具体的要件	○助成対象者:助成対象作物を作付けした農業者 ○出荷販売実績の確認できるもの ○対象農地:水田 ○その他要件:農薬使用に関するチェックシートの作成、協議会への提出 主要なチェック項目については、 ①適正使用に関すること ②立地・散布状況に関すること ③近隣作物に関すること ④散布機器に関すること ⑤散布の方法に関すること とする				
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、現地確認、生産履歴、栽培履歴、販売証明書 ○対象農地:水田 ○その他要件:農薬使用に関するチェックシート				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	<input type="radio"/>	前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度	29
----	-----------------------	-------------	--	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	4
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	わら利用助成(耕畜連携)			
対象作物	飼料用米			
単価	10,400円/10a (上限単価:13,000円/10a)	参考となる単価※3	13,000円/10a	
内容	水稻作付面積を確保しつつ、耕種農家と畜産農家における地域内連携を推進するため、飼料用米作付け及びわら利用による耕畜連携の取組を支援する			
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を作付けし、取組要件を全て満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○助成対象作物:飼料用米</p> <p>○取組要件:</p> <p>1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年以上を締結期間とする利用供給協定が締結(自家利用の場合には自家利用計画が策定)されていること。なお、利用供給協定に含まれる事項は以下のとおり。</p> <p>【利用供給協定に含まれるべき事項】</p> <p>①取組の内容</p> <p>②わらを生産する者</p> <p>③わらを収集する者</p> <p>④わらを利用する者</p> <p>⑤ほ場の場所及び面積</p> <p>⑥刈取りの時期</p> <p>⑦利用供給協定締結期間</p> <p>⑧わら取引の条件(作業分担及び品代・経費の負担)</p> <p>⑨その他必要な事項</p> <p>2 生産されたわらが飼料として利用され、かつ、その子実が飼料又は飼料の種苗として利用されること</p> <p>3 刈取り時期が出穂期以降で利用供給協定に定める時期であること</p> <p>4 他の耕畜連携(整理番号5、6)の助成を受けていないこと</p>			
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、利用供給協定、新規需要米取組計画書、新規需要米認定結果通知書 新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表、現地確認、その他わらの引き渡しの事実が確認できる書類等			
備考				

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	○	前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度	29
----	---	-------------	--	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	5	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠			分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	水田放牧助成(耕畜連携)				
対象作物	飼料作物				
単価	10,400円/10a (上限単価:13,000円/10a)		参考となる単価※3	13,000円/10a	
内容	耕種農家と畜産農家における地域内連携を推進するため、飼料作物作付及び水田放牧による耕畜連携の取組を支援する				
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を作付けし、取組要件を全て満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○助成対象作物:飼料作物</p> <p>○取組要件:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定が締結(自家利用の場合には自家利用計画が策定)されていること。なお、利用供給協定に含まれるべき事項は以下のとおり。 【利用供給協定に含まれるべき事項】 ①取組の内容 ②飼料作物を生産する者 ③牛群を管理する者 ④ほ場の場所及び面積 ⑤牛の入退牧の時期及び放牧頭数 ⑥利用供給協定締結期間 ⑦水田放牧の条件(作業分担及び品代・経費の負担) ⑧その他必要な事項 2 作付水田において、当年度に放牧の取組が行われること 3 1haあたりの放牧頭数が成牛換算で2頭以上であること (成牛換算は育成牛2頭あたり成牛1頭とする) 4 放牧対象牛は、概ね24か月齢以上の成牛又は8か月齢以上の育成牛であること 5 協議会が認める適正な放牧密度により放牧が実施されるものであり、かつ、1ha当たり延べ放牧頭数が180頭日以上であること 6 他の耕畜連携(整理番号4、6)の助成を受けていないこと 				
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、利用供給協定(自家利用計画)、現地確認、作業日誌、写真等				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	○	前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度	29
----	---	-------------	--	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	6	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	資源循環助成(耕畜連携)				
対象作物	飼料作物、WCS用稲 ※対象品目の詳細は別表のとおり				
単価	10,400円/10a (上限単価:13,000円/10a)		参考となる単価※3	13,000円/10a	
内容	耕種農家と畜産農家における地域内循環を推進するため、飼料作物等の作付け及び堆肥散布による耕畜連携の取組を支援する				
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を作付けし、取組要件を全て満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○助成対象作物:飼料作物、WCS用稲(対象品目の詳細は別表のとおり)</p> <p>○取組要件:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定が締結されていること。なお、利用供給協定に含まれるべき事項は以下のとおり。 【利用供給協定に含まれるべき事項】 ①取組の内容 ②供給される飼料作物等の種類 ③飼料作物を生産する者 ④堆肥を散布する者 ⑤ほ場の場所及び面積 ⑥堆肥の散布時期及び量 ⑦利用供給協定締結期間 ⑧堆肥散布の条件(作業分担及び品代・経費の負担) 2 1に基づき水田で生産された対象作物の供給を受けた家畜の排泄物から生産された堆肥を当年度において施肥すること 3 堆肥を散布する者は、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の所有者又はその者の委託を受けた者(本取組の交付対象者を除く)であること 4 堆肥の散布量が10aあたりで2t又は4m³以上であること(ただし、地域の公的機関が堆肥の散布量に関する基準を定めている場合、地域協議会の判断により当該基準に代替可能) 5 堆肥散布の取組によるほかの助成を受けていないこと 6 ほかの耕畜連携(整理番号4、5)の助成を受けていないこと <p>(注) 自ら家畜を飼養している者については、当該家畜のすべての堆肥を慣行に従って自己所有地に散布しても、なお堆肥が不足する場合に、不足分を利用供給協定に基づいて散布した面積に限り対象とする。</p>				
確認方法	<p>○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物:</p> <p>営農計画書、交付申請書、利用供給協定、新規需要米取組計画書、新規需要米認定結果通知書 新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表、現地確認、その他堆肥の引き渡しの事実が確認できる書類等</p>				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の□に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか□に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

(別表)対象作物

青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレー
ジ化したものを含む。)、青刈り大豆、子実用えん麦、青刈り稲、WCS用稲、わら専用稲、青刈りひえ、しこくびえ、
オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス、ハイブリットライグラス、スムーズブロム
グラス、トールフェスク、メドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグラス、リードカナリーグラス、バヒアグ
ラス、ギニアグラス、カラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、アカクローバ、シロクローバ、アルサイクク
ローバ、ガレガ、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼
料用しば

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	7	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	湿害対策助成				
対象作物	基幹作物: 野菜、花卉、果樹、雑穀、採種、てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯(生食用・加工用) ※対象品目の詳細は別表のとおり				
単価	2,800円/10a (上限単価:3,500円/10a)		参考となる単価※3	3,500円/10a以内	
内容	湿害対策(心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等)を実施することにより、収量・品質の安定向上を図る取組に対し支援する				
具体的要件	○助成対象者:出荷販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者 ○対象農地:水田 ○取組要件: ・以下より1つ以上実施(ただし、国や動画助成する生産基盤整備等で実施した場合は対象外とする) 心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工)、たい肥施用、明暗渠の施工(無材暗渠施工含む)、心土改良(カッティングソイラ等施工)、畦間サブソイラ施工、高畦栽培、深耕爪付プランタの利用、踏圧軽減(セミクローラー式トラクタ、ダブルタイヤ等の利用)、畦間土壌透水性改善(カルチベータ等施工) ・前作物の収穫後から対象作物の収穫までの期間内に取組みを実施する ・たい肥施用については、「北海道施肥ガイド」や「北海道における有機質資材の利用ガイド」を活用することとし、1トン/10a以上散布(地力を維持するためのたい肥の施用量)し、作物が正常に生育し適正な収量・品質の農産物が得られ、かつ環境に負荷を与えない量を施用すること。その際、たい肥の肥料効果を見込んで、「北海道施肥ガイド」等を活用し、適正施肥に努めること ○その他要件: 果樹は新植から7年目までを対象とする				
確認方法	○助成対象者: 交付申請者、営農計画書、現地確認等で確認 ○対象農地区分:営農計画書、水田台帳等で確認 ○取組要件、助成対象面積等 ①作付面積: 共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認 ②取組実施面積(取組を実施した実面積):作業日誌、ほ場図等により確認 ③助成対象面積:①と②の小さな方 ④交付額(円未満切捨て):③助成対象面積×単価				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	8	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	高度施肥管理加算				
対象作物	基幹作物: 野菜、花卉、果樹、雑穀、採種、てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯(生食用・加工用) ※対象品目の詳細は別表のとおり				
単価	400円/10a (上限単価:500円/10a)		参考となる単価※3	500円/10a以内	
内容	土壌診断に基づく施肥設計を実施する取組に対し支援することにより、適正施肥による収量、品質の安定・向上、肥料低減によるコスト削減を推進する				
具体的要件	<p>○助成対象者 出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○取組要件: ・原則として、前作物の収穫後から対象作物の移植・植付までの期間内、対象作物のほ場において実施された土壌診断の結果を踏まえ、施肥設計をする(ただし、輪作体系による栽培実態等に鑑み、過去4年(例えば当年が平成29年度であれば、平成25年~28年度)に、当年産の対象作物のほ場で実施された土壌診断結果を用いて施肥設計を実施してもよい) ・土壌診断は対象作物の各ほ場毎に行うことが望ましいが、土地の性質、作付作物の来歴や施肥履歴等に応じてサンプリング密度、点数を調整してもよい(土壌の性質、作付作物の来歴や施肥履歴が類似していることなどから、対象作物の代表的なほ場の土壌診断結果を、周辺の対象作物の複数ほ場に適用することが適当と判断できるのであれば、その土壌診断結果を踏まえ、複数ほ場において施肥設計を実施した面積も対象とすることができる) ・「北海道施肥ガイド」等を活用し、土壌診断の結果に基づく適正施肥に努めること ・診断項目は、pH、有効態リン酸、交換性石灰、交換性苦土、交換性加里を基本とし、必要に応じて追加して行う ・取組実施面積:土壌診断の結果を踏まえ施肥設計を実施した対象作物の面積</p> <p>○その他要件: 果樹は新植から7年目までを対象とする</p>				
確認方法	<p>○助成対象者:交付申請書、営農計画書、現地確認等で確認</p> <p>○対象農地区分:営農計画書、水田台帳等で確認</p> <p>○取組要件、助成対象面積等: ①作付面積: 共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認 ②取組実施面積(取組を実施した実面積): 作業日誌、ほ場図、土壌診断結果、施肥設計書等により確認 ③助成対象面積:①と②の小さな方 ④交付額(円未満切捨て):③助成対象面積×単価</p>				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	9	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	直播栽培加算				
対象作物	基幹作物:てん菜				
単価	1,200円/10a (上限単価:1,500円/10a)		参考となる単価※3	1,500円/10a以内	
内容	直播栽培を実施することによって、省力化を図る取組に対し支援				
具体的要件	○助成対象者:出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者 ○対象農地:水田 ○取組要件: ・直播栽培を実施していること ・取組実施面積:直播によりてん菜を作付けし収穫した面積				
確認方法	○助成対象者: 交付申請書、営農計画書、現地確認等で確認 ○対象農地区分:営農計画書、水田台帳等で確認 ○取組要件、助成対象面積等: ①作付面積: 共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認 ②取組実施面積: 作業日誌、ほ場図、土壌診断結果、施肥設計書等により確認 ③助成対象面積:①と②の小さな方 ④交付額(円未満切捨て):③助成対象面積×単価				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	10	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠			分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	安心・安全加算				
対象作物	基幹作物: 野菜(キャベツ、南瓜以外)、花卉、果樹、雑穀、採種、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯(生食用・加工用) ※対象品目の詳細は別表のとおり				
単価	7,200円/10a (上限単価:9,000円/10a)		参考となる単価※3	9,000円/10a以内	
内容	生産履歴・栽培履歴を整備し、更に農薬による、残留農薬の問題等の事故防止と適正使用の取組を推進するため、農薬の使用時に作業内容を確認するチェックシートを作成し、取組している作物の作付面積に対して交付する				
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者:助成対象作物を作付けした農業者 <input type="checkbox"/> 出荷販売実績の確認できるもの <input type="checkbox"/> 対象農地:水田 <input type="checkbox"/> その他要件:農薬使用に関するチェックシートの作成、協議会への提出 主要なチェック項目については、 ①適正使用に関すること ②立地・散布状況に関すること ③近隣作物に関すること ④散布機器に関すること ⑤散布の方法に関すること とする 果樹は新植から7年目までを対象とする				
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、現地確認、生産履歴、栽培履歴、販売証明書 <input type="checkbox"/> 対象農地:水田 <input type="checkbox"/> その他要件:農薬使用に関するチェックシート				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口にて✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口にて✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	11
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	輪作加算			
対象作物	基幹作物:てん菜			
単価	29,600円/10a (上限単価:37,000円/10a)	参考となる単価※3	37,000円/10a以内	
内容	てん菜を作付けし、適正な輪作体系を確立することにより、作付け面積の多い麦・大豆・南瓜の連作を回避するとともに、安定的な収量確保を目的とした取組に対して支援を行う			
具体的要件	○助成対象者: 出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者 ○対象農地:水田 ○取組要件: ・前年度てん菜を作付けしていないほ場で、今年度てん菜を作付けする場合 ・当該ほ場における平成33年度までの作付計画を作成すること			
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積、助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、前年度営農計画書、前年度作付実績、水稻共済明細書、現地確認 ○その他要件:水稻共済明細書、現地確認			
備考				

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	前年度継続(変更あり)	○	前年度継続	助成開始年度	28
----	-------------	---	-------	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	12	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	輪作加算				
対象作物	基幹作物:小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯(生食用・加工用)				
単価	12,000円/10a (上限単価:15,000円/10a)		参考となる単価※3	15,000円/10a以内	
内容	雑豆・馬鈴薯を作付けし、適正な輪作体系を確立することにより、作付面積の多い麦・大豆・南瓜の連作を回避するとともに、安定的な収量確保を目的とした取組に対して支援を行う				
具体的要件	<p>○助成対象者: 出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○その他要件: ・2年連続で対象作物を作付けていないこと(小豆、菜豆、えんどうを作付けるほ場で、前年度豆類を作付けている場合は交付対象外とする) ・当該ほ場における平成33年までの作付計画を作成すること</p>				
確認方法	<p>○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、前年度の営農計画書、前年作付実績、水稻共済明細書、現地確認</p> <p>○その他要件: 水稻共済明細書、現地確認</p>				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規	前年度継続(変更あり)	○	前年度継続	助成開始年度	27
----	-------------	---	-------	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	13	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠			分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	輪作加算				
対象作物	基幹作物:地力増進作物(休閒緑肥) ※対象品目の詳細は別表のとおり				
単価	12,000円/10a (上限単価:15,000円/10a)		参考となる単価※3	15,000円/10a以内	
内容	緑肥作物を作付けし、収穫せずすきこむことで地力の維持・向上を図ることを目的とした取組に対して支援を行う				
具体的要件	○助成対象者:地力増進作物(休閒緑肥)を作付けした農業者 ○対象農地:水田 ○その他要件: ①、②の両方の条件を満たすこと ①地力増進の見地から十分な植栽密度があるとともに、通常の肥培管理が行われており、収穫せずすきこむこと ②前年度に南瓜、キャベツ、麦、大豆(黒大豆・種子用大豆を除く)、そば、なたね、てん菜、でん粉原料用ばれいしょが作付けされたほ場の面積を交付対象とする。ただし、前年度に雑豆、馬鈴薯が作付けられたほ場の場合は、前々年度に上記作物が作付けされた上記作物が作付けされたほ場の面積を交付対象とする				
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、前年度の営農計画書、前年作付実績、水稻共済明細書、現地確認 ○その他要件: 休閒緑肥であることの確認:聞き取り、現地確認、水稻共済明細書 すきこみの確認:作業日誌、現地確認				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	14
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	担い手加算			
対象作物	基幹作物: 黒大豆、採種(大豆)、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯、飼料作物(飼料用米、WCS用稲を除く)、野菜、 花卉、果樹、雑穀、地力増進作物、採種 ※対象品目の詳細は別表のとおり			
単価	5,600円/10a (上限単価:7,000円/10a)	参考となる単価※3	7,000円/10a以内	
内容	助成対象作物を作付けした担い手農業者に対して加算			
具体的要件	○助成対象者: 出荷・販売目的で対象作物を生産する担い手農業者 ただし、担い手農業者は次のいずれかに該当する者とする ①農地中間管理機構から農地を借り受けている農業者 ②認定農業者 ③認定新規就農者 ④集落営農 ⑤人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる経営体 ○対象農地:水田 ○その他要件: 果樹は新植から7年目までを対象とする 地力増進作物を当該水田で2年連続して作付けしていないこと また、地力増進の見地から十分な植栽密度があるとともに、通常の肥培管理が行われており、 収穫せずにすきこむこと			
確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物: 営農計画書、交付申請書、現地確認、農業経営改善計画認定書の写し、利用供給契約若しくは自家 利用計画(飼料作物)、前年作付実績、農地利用集積計画書、人・農地プラン ○その他要件: 地力増進作物のすきこみ(作業日誌・現地確認) 過去の営農計画書			
備考	担い手農業者による安定的な生産体制の確立、持続可能な農業・農村の維持のため担い手農業者に 限定して助成を行う。			

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口
✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	29
----	--	-------------	--	-------	---	--------	----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	和寒町地域農業再生協議会		整理番号	15	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
使途	湿害対策助成				
対象作物	基幹作物:そば				
単価	20,000円/10a		参考となる単価※3	20,000円/10a以内	
内容	湿害対策(心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等)を実施することにより、収量・品質の安定向上を図る取り組みに対し支援する				
具体的要件	<p>○助成対象者: 出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○取組要件: ・以下より1つ以上実施(ただし、国や道が助成する生産基盤整備等で実施した場合は対象外とする) 心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工)、たい肥施用、明暗渠の施工(無材暗渠施工含む)(心土改良(カッティングソイラ等施工)、畦間サブソイラ施工、高畦栽培、深耕爪付プランタの利用、踏圧軽減(セミクローラー式トラクタ、ダブルタイヤ等の利用)、畦間土壌透水性改善(カルチペータ等施工)も対象とする) ・前作物の収穫後から対象作物の収穫までの期間内に取り組みを実施する ・たい肥施用については、「北海道施肥ガイド」や「北海道における有機質資材の利用ガイド」を活用することとし、1トン/10a以上散布(地力を維持するためのたい肥の施肥量)し、作物が正常に生育し適正な収量・品質の農産物が得られ、かつ環境に負荷を与えない量を施用すること。その際、たい肥の肥料効果を見込んで、「北海道施肥ガイド」等を活用し適正施肥に努めること</p>				
確認方法	<p>○助成対象者: 交付申請書、営農計画書、現地確認等で確認</p> <p>○対象農地区分:営農計画書、水田台帳等で確認</p> <p>○取組要件、助成対象面積等</p> <p>①作付面積: そば(実面積):共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認</p> <p>②取組実施面積(取組を実施した実面積):作業日誌、ほ場図等により確認</p> <p>③助成対象面積:①と②の小さな方</p> <p>④交付額(円未満切捨て):③助成対象面積×単価</p>				
備考					

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。